

みんなで作る里山プロジェクト自然調査会

No.1  
2022.11

# あすなる しぜん便り

アオヤンマ(♀) / 全長 66~77mm 撮影 / 可児 修一 かにしゅういち



みんなで作る里山プロジェクト自然調査会

菅生沼・あすなるの里の図鑑制作をめざし、生きものや植物を子どもたちと調べる(調査する)あすなるの里の体験事業です。  
参加してみたい方は、事務局までお問合せください

# 虫



## 春

4月29日(金) ●水海道あすなろの里 遊びの森  
 くもりのち雨/無風/16℃/9:00~12:00

【調査員】関 健太郎、大久保龍馬、沢田 明衣、上山 裕平、朴 成真、常総みどりの会

5月21日(土) ●水海道あすなろの里 遊びの森  
 雨のちくもり/無風/22℃/9:00~12:00

【調査員】関 健太郎、大久保龍馬、沢田 明衣、上山 裕平、小野 夢叶、長田 啓辰、長田 晴路、杉岡 和樹、藤井 啓、可児 壱平、常総みどりの会

4月と5月の記録(全35種)

<b>バッタ目</b>	ナガメ	<b>チョウ目</b>
タンポココロギ	<b>コウチュウ目</b>	スジグロシロチョウ
ケラ	キアシヌレチゴミムシ	ベニシジミ
ヤブキリ(?)	コキベリアオゴミムシ	サトキマダラヒカゲ
クビキリギス	ミイデラゴミムシ	ヒメウラナミジャノメ
ヒメギス	オオヒラタシテムシ	ツマグロヒョウモン
ハラヒシバッタ	シロテンハナムグリ	コジャノメ
ハネナガヒシバッタ	コアオハナムグリ	ヒメジャノメ
ツチイナゴ	ヒゲナガハナムミ	オオウンモンクチバ
<b>カメムシ目</b>	ナミテントウ	<b>シリアゲムシ目</b>
トビイロツノゼミ	ナナホシテントウ	ヤマトシリアゲ
オオヨコバイ	ヒメスギカミキリ	<b>ハチ目</b>
ツマグロオオヨコバイ	コガタルリハムシ	キイロスズメバチ
ヨコツナサンガメ	コフキソウムシ	



## 虫チームの同定会



全部の虫は調べきれないので  
 リーダーの先生のアシストをうけ  
 何を同定するか決め、  
 それぞれ意見をまとめていきます。



意見が合わないこともあります。  
 学年は違うけれど、  
 みんな図鑑を使って  
 率直に意見を出し合います。



写真撮影のリーダーさん  
 とにかく人数も多い虫チームは、  
 写真撮影も大忙し。  
 みんなで同定したものを撮影していきます。



## 昆虫の先生から

コウチュウ目やチョウ目など、いろいろなグループを観察できていてとてもいい調査だと思います。一見すると種類を判別(同定)するのが難しい昆虫も含まれていますが、図鑑を使ってよく調べられています。

また、季節や時間帯を変えることで観察できる昆虫が異なることが明白ですね。今回のようないつ、どこで、どんな昆虫が生息していたかという情報は、自然環境を知る際に貴重なデータとなります。

ミュージアムパーク茨城県自然博物館 / 西元 重雄

## 夏

6月26日(日) ●菅生沼下沼~あすなろ橋~菅生沼ふれあい広場  
 晴れ/35℃/弱風/9:00~12:00

【調査員】関 健太郎、大久保 龍馬、沢田 明衣、朴 成真、杉岡 和樹、長田 啓辰、長田 晴路、可児 壱平、藤井 新、常総みどりの会

<b>トンボ目</b>	ヒメギス	タンゴヒラタゴミムシ
ウチワヤンマ	ウスイロササキリ	メダカチビカワゴミムシ
ノシメトンボ	ツユムシ	キアシヌレチゴミムシ
コシアキトンボ	<b>カメムシ目</b>	コアオハナムグリ
オオシオカラトンボ	ノコギリカメムシ	ナナホシテントウ
<b>カマキリ目</b>	アカスジカメムシ	<b>チョウ目</b>
コカマキリ	ナガメ	モンシロチョウ
<b>バッタ目</b>	<b>コウチュウ目</b>	ベニシジミ
クルマバッタ	キアシヌレチゴミムシ	ウラナミアカシジミ
オンブバッタ	キベリアオゴミムシ	ヒメアカタテハ
ヒナバッタ	セアカヒラタゴミムシ	アカボシゴマダラ
ショウリョウバッタ	キベリゴモクムシ	イチモンジセセリ
ハヤシノウマオイ	ウスアカクログモクムシ	



7月23日(土) ●菅生沼上沼天神山公園 / 夜間採集

●大塚戸町 / ホタル調べ  
 晴れ/27℃/弱風/19:00~21:30

【調査員】関 健太郎、大久保 龍馬、上山 裕平、小野 夢叶、小野 志穂、朴 成真、杉岡 和樹、長田 啓辰、長田 晴路、藤井 啓、藤井 周、藤井 新、常総みどりの会  
 ※猛暑を避け、夜間の観察に変更しました。

<b>カメムシ目</b>	ゴモクムシ?	クワカミキリ
アブラゼミ	ヒメコガネ	カタシロゴマフカミキリ
ミンミンゼミ	スジコガネ	アオカミキリモドキ
ニイニゼミ	サクラコガネ	ヘイケボタル
<b>コウチュウ目</b>	コフキコガネ	<b>アミメカゲロウ目</b>
アオゴミムシ	ミヤマカミキリ	ヒメカマキリモドキ
コハンミョウ	ウスバカミキリ	

## ◀ヒメカマキリモドキ

セミの孵化を目撃できて嬉しかったです。  
 夜なのにセミは人が近づくと鳴き止むので  
 眼が良く見えるのかなあ?と色々疑問を持ちました。  
 朴 成真さん / つくば市小学3年



8月20日(土) ●水海道あすなろの里園内 / 夜間採集  
 小雨/24℃/無風/19:00~21:30

【調査員】関 健太郎、大久保 龍馬、沢田 明衣、長田 啓辰、長田 晴路、可児 壱平、遠藤 悠恭、遠藤 彩華、常総みどりの会

※雨のため、あすなろの里池周辺の散策路と動物園上の農機具小屋そばの雑木林で採集を行いました。

<b>カマキリ目</b>	ベッコウハゴロモ	アオドウガネ
オオカマキリ	アブラゼミ	ドウガネフイブイ
ハラヒロカマキリ	ミンミンゼミ	ヒメコガネ
コカマキリ	ツクツクボウシ	サクラコガネ
<b>チョウ目</b>	<b>トンボ目</b>	ノコギリクワガタ
ウンモンクチバ?	アジアイイトトンボ	コメツクムシ?
<b>バッタ目</b>	<b>コウチュウ目</b>	オオコムシシゴミムシシダマシ
オンブバッタ	コシマゲンゴロウ	
<b>カメムシ目</b>	エンマコガネ?	

あすなろの里の夜は、虫のパラダイスです。  
 関 健太郎さん / 埼玉県越谷市小学2年  
 カマキリを発見し、秋の虫の訪れを確認できました。  
 上山 裕平さん / 守谷市小学3年





# 鳥



## 春

4月29日(金) ●水海道あすなるの里 遊びの森  
 曇りのち雨 / 16℃ / 無風 / 9:00~12:00 22種・外来種2種  
 【調査員】田中 春希、平田 楽、常総みどりの会

50音順

アオサギ	カワウ	コジュケイ(外)	トビ
ウグイス	カワセミ	サンショウクイ	ハシブトガラス
エナガ	キジ	シジュウカラ	ホオジロ
カルガモ	キジバト	セグロセキレイ	モズ
カイツブリ	キビタキ	セッカ	
ガビチョウ(外)	コゲラ	ツバメ	



▲モズ

5月21日(土) 全員欠席のため中止



野鳥チームは、  
自作の資料を活用しながら  
丁寧に観察しました。

### 菅生沼野鳥調べの走り出し

菅生沼の豊かな自然は、近隣の方だけでなく、広く県内外から多くの方を惹きつけ、愛されています。鳥獣保護区(菅生沼は特別保護地区)に指定されており、多くの生き物にとっても大切なところ。『みんなで作る里山プロジェクト』に並行して、2022年度から野鳥調べを開始しました。菅生沼の上沼から下沼の間に3ヶ所の観察場所を決め、月に一回(8時30分~15時、夏季は5時30分~12時)、日本野鳥の会茨城県の方の協力を得て観察を行っています。 あすなるの里 / 坂入 真史

## 夏

6月26日(日) ●菅生沼下沼~あすなる橋~菅生沼ふれあい広場  
 晴れ / 35℃ / 弱風 / 9:00~12:00 22種・外来種1種  
 【調査員】田中 春希、平田 楽、常総みどりの会

50音順

アオサギ	カワウ	コチドリ	トビ
ウグイス	カワセミ	シジュウカラ	ハシブトガラス
エナガ	キジ	セグロセキレイ	ホオジロ
オオヨシキリ	キジバト	セッカ	モズ
カルガモ	コゲラ	ダイサギ	
カイツブリ	コジュケイ(外)	ツバメ	



▲オオヨシキリ

※あすなるの里と菅生沼を交互に調査する予定でしたが、あすなるの里の森林エリアが限定されることや、菅生沼を観察することで多様な野鳥を記録できることから菅生沼を中心に記録をとる方向に修正し、6月調査から変更しました。

7月23日(土) ●菅生沼下沼~あすなる橋~菅生沼ふれあい広場  
 晴れ / 26℃ / 無風 / 6:30~9:00 19種・外来種1種  
 【調査員】平田 楽、常総みどりの会

※定点観察を導入。夏季の観察時間を早朝に変更した。

50音順

アオサギ	カワラヒワ	スズメ	トビ
イワツバメ(?)	ガビチョウ(外)	シジュウカラ	ハクセキレイ
ウグイス	キジバト	セッカ	ホオジロ
カルガモ	コチドリ	ダイサギ	モズ
カワウ	サシバ	ツバメ	

菅生沼の水位が高くなっていて、  
オオヨシキリの鳴き声が全く聞こえませんでした。  
平田 楽さん / 埼玉県越谷市小学6年



8月20日(土) ●菅生沼下沼~あすなる橋~菅生沼ふれあい広場  
 晴れ / 24℃ / 無風 / 6:30~9:00 12種  
 【調査員】田中 春希、常総みどりの会

※定点観察を導入。夏季の観察時間を早朝に変更した。

50音順

カワウ	コチドリ	セグロセキレイ	トビ
カワセミ	スズメ	ダイサギ	ハシブトガラス
キジバト	セッカ	ツバメ	モズ

ふれあい橋から、菅生沼ふれあい広場まで  
6月では通りぬけできたけれど、8月では草が生い茂り  
それができず、その間の野鳥が観察できませんでした。  
田中 春希さん / 茨城県つくば市小学5年

### 鳥の先生から

菅生沼やあすなるの里周辺は、さまざまな環境が入り組み、鳥を観察するにはおもしろいところです。水の流れのあるところや、ところどころ鳥のように見える草が生えた乾いたところや、あすなる橋上流の広い草原環境や、菅生沼を挟んだ東と西の台地の長い斜面林など、それぞれの場所を好むさまざまな種類の鳥が利用していると思われます。

早朝に活発に活動する鳥の暮らしに合わせて、夏の観察時間を早めたりして観察にも工夫を凝らしていますね。

日本野鳥の会茨城県 副会長 / 内田 初江



# 植物



## 春

4月29日(金) ●水海道あすなろの里 遊びの森  
 くもりのち雨/無風/16℃/9:00~12:00  
 【調査員】松橋 明里、福田 藍斗、常総みどりの会

5月21日(土) ●水海道あすなろの里 遊びの森  
 雨のちくもり/無風/22℃/9:00~12:00  
 【調査員】松橋 明里、福田 藍斗、常総みどりの会

4月・5月・8月 あすなろの里で記録した花51種(50音順)

アメリカフウロ	キショウブ	トキワハゼ
アキノタムラソウ	キツネノカミソリ	ドクダミ
イヌガラシ	キツネノマゴ	ヌスビトハギ
イヌタデ	キュウリグサ	ハルジオン
イヌゴマ	クサギ	ヒヨドリバナ
ウシハコベ	ケツネノボタン	ヘクソカズラ
ウド	コヒルガオ	ヘビイチゴ
オオバコ	スズメウリ	ミツバツチグリ
オランダガラシ	シロツメクサ	ミゾカクシ
オオイヌオフグリ	セイヨウタンポポ	ミスタマソウ
オニタビラコ	シャガ	ムラサキサギゴケ
オニドコロ	ジュウニヒトエ	ヤブカラシ
オニノゲシ	ショウブ	ヤマノイモ
オランダミミナグサ	シロツメクサ	ヤエムグラ
カキドオシ	タコノアシ	ユウガギク
カラスウリ	ツボスミレ	ユウゲショウ
カラスノエンドウ*	ツクサ	ワルナスビ



イヌゴマ



キツネノカミソリ



ヤブカラシ



ヤマノイモ

## カブトムシの里親になってくれてありがとう!

2021年11月に行った「秋の里山探検～さしま編(茨城県立さしま少年自然の家)」にて、植物チームであり昆虫にも関心の高い松橋明里さん(古河市・小学3年生)と栄太さん(小学1年生)姉弟に、あすなろの里のカブトムシ幼虫をあずかっていただきました。

7月31日、成虫になったカブトムシ(雄1頭、雌1頭)が、あすなろの里に戻りし、遊びの森に戻りました。お世話してくれて、ありがとう。



初めて成虫まで育てました!

松橋 明里さん(古河市・小学3年生)

松橋 栄太さん(古河市・小学1年生)

協力: ミュージアムパーク茨城県自然博物館/植物研究室 飯田 勝明、動物研究室 西元 重雄  
 日本野鳥の会茨城県/内田 初江  
 自然科学普及団体地球レベル/ひとでちゃん(小松 真弓)

写真協力: 大久保 千春、藤井 悟司、可児 修一

調査員サポート: 保護者の皆様

ボランティア: 常総みどりの会/可児 修一、小野田 裕介、上山 耕平、井上 純一、長谷川 としえ、大久保 千春

## 夏

6月26日(日) ●菅生沼下沼～あすなろ橋～菅生沼ふれあい広場  
 晴れ/35℃/弱風/9:00~12:00  
 【調査員】松橋 明里、福田 藍斗、藤井 悟司、常総みどりの会

キツネノマゴ。キツネと付く植物はいくつかあるけど  
 タヌキはないらしい。

福田 藍斗さん(つくばみらい市・小学2年生)

植物の先生から: タヌキの付く植物もあるよ、調べてみよう!

7月23日(土)  
 ●菅生沼下沼～あすなろ橋～  
 菅生沼ふれあい広場  
 晴れ/26℃/無風/6:30~9:00  
 【調査員】松橋 明里、福田 藍斗、藤井 悟司、  
 常総みどりの会



8月20日(土)  
 ●水海道あすなろの里 遊びの森  
 晴れ/24℃/無風/6:30~9:00  
 【調査員】松橋 明里、福田 藍斗、藤井 悟司、  
 常総みどりの会



6月・7月 菅生沼で記録した花28種(50音順)

アレチウリ	カナムグラ	ネムノキ
アレチヌスビトハギ	キツネアザミ	ノカンゾウ
イシミカワ	クズ	ハンゲショウ
ウシハコベ	コマツナギ	ヒメジョオン
エノコログサ	シロザ	ヒルガオ
オオバクサ	シロツメクサ	ムラサキツメクサ
オヘビイチゴ	セイタカアワダチソウ	メドハギ
ガガイモ	タチヌノフグリ	ヤブジラミ
	ツクサ	ヨモギ
	ナガバギシギシ	
	ニワゼキショウ	



ウシハコベ



ノカンゾウ



ムラサキツメクサ



ヤブジラミ

## 植物の先生から

丹念な調査で、数多くの種を記録することができました。これから調査を重ねていくと、種類はもっと増えてくると思います。

今回あすなろの里で記録されたタコノアシは、絶滅が心配される希少な植物です。菅生沼には、他にも絶滅が心配される植物が生育しており、これからの調査で確認できるかもしれません。植物は、生育環境や季節によって見られる種類が変わります。そのようなことに気をつけて調査すると、より楽しくなると思います。

ミュージアムパーク茨城県自然博物館/飯田 勝明

※今回の記録は子どもたちが調べた結果をそのまま記載しており、種名が標準名と異なるものが含まれます。